

## 花粉症について

日本人の3人に1人が花粉症といわれるぐらい花粉症は今や国民病になっています。しかし花粉症の初期症状と風邪症状はよく似ているため、花粉症なのか風邪なのか非常に分かりづらいと言えます。



具体的な花粉症の症状としては、以下の4つが挙げられます。

- ・連続して出るくしゃみ
- ・透明で水みみたいなサラサラした鼻水
- ・頑固な鼻づまり
- ・目のかゆみ

風邪の場合は、いつまでも症状が長引くことはないのですが、1週間以上経っても症状が一向に良くならないという場合は花粉症の可能性がります。

## 花粉症の治療薬

治療薬としては内服薬・点鼻薬・点眼薬などがありますが、今回は内服薬と点鼻薬について紹介します。

### ①内服薬

主に使われるのは、抗ヒスタミン薬(アレルギーの発症原因となるヒスタミンの働きを阻害)現在は眠気などの副作用が少ない第二世代の抗ヒスタミン薬が主流です。

#### 主な薬品一覧

薬品名	ジェネリック	1日の服用回数	効果	副作用(眠気)	市販薬
アレグラ	フェキソフェナジン	2回	穏やか	ほとんどない	アレグラFX
アレジオン	エピナスチン	1回	中間	軽い眠気あり	アレジオン10、20
アレロック	オロパタジン	2回	強い	出やすい	なし
ザイザル	なし	1回	やや強い	軽い眠気あり	なし
クラリチン	ロラタジン	1回	穏やか	ほとんどない	クラリチンEX



花粉シーズン中は続けて飲むことが大切です。花粉の飛ぶ量が少なく、症状が軽い日なども自己判断で飲むのをやめないようにしましょう。

### ②点鼻薬

	具体的な薬品名	特徴
ステロイド薬	ナゾネックス、アラミスト、フルナーゼ、エリザス	総合的な鼻症状の改善効果が期待できる。すぐに症状が改善するわけではないので定期的に使用することが大切。
抗ヒスタミン薬	リボスチン、ザジテン	鼻水、くしゃみの症状を改善するが鼻づまりの効果は小さい
血管収縮薬	プリピナ	鼻づまりに対して即効性がある。長期連用は避けること。

花粉症治療薬は市販の薬も多く販売されていますが、このように薬によって効果、副作用に違いがあり、その感じ方は個人差があります。花粉症かな？と感じたら、まずは医師の診察を受けましょう。

お困りのことや不安なことなど何でも当薬局にご相談ください